うちなだ 議会だより

Vol.118
平成26年〔2014〕
8月5日 発行

県大会で準優勝に輝いた内灘町消防団第２分団（郡市操法大会の雄姿）

安心安全のまちづくりへ 6月定例会 ②
委員会レポート ⑤
ありゃ～どうなったがいね～ ⑥
一般質問 ―8人が登壇― ⑦
あなたの声を国へ ⑯

石川県内灘町議会

LED照明へ 5ヶ年事業

第2回 定例会 6月会議 10日～18日

平成26年第2回定例会6月会議が開催され、平成25・26年度補正予算9件のほか、条例3件、財産の取得1件、人事案1件の計14件を審議し、すべて原案のとおり承認・可決しました。
平成26年度一般会計では1億8885万円を追加し、総額91億7885万円となりました。

温暖化対策

平成25年度補正予算（全員賛成）

・一般会計
事業費の確定により8197万円を減額し、総額93億8842万円としました。

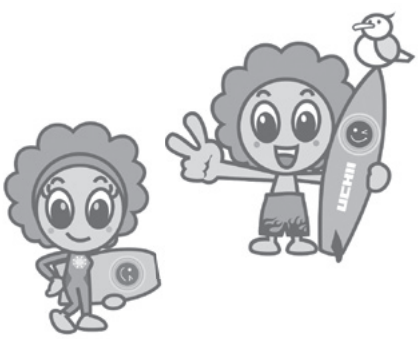
・公共下水道事業特別会計
事業費の確定により709万円を減額し、総額14億3906万円としました。

・新エネルギー事業特別会計
事業費の確定により81万円を減額し、総額3580万円としました。

・国民健康保険特別会計
事業費の確定により180万円を減額し、総額31億2935万円としました。

・後期高齢者医療特別会計
事業費の確定により11万円を追加し、総額2億2074万円としました。

・介護保険特別会計
事業費の確定により422万円を減額し、総額15億2819万円としました。



安心安全・地球にやさしいまちづくり
地区街灯を

地域コミュニティ

発電機搭載型投光機購入　40万円
・大学2丁目町会に2台購入

ステージ整備　250万円
・ハマナス町会行事に活用

体育施設

野球場ネット改修　290万円
・8月に県体会場となる防球ネットの改修

平成26年度補正予算

・国民健康保険特別会計（全員賛成）
前年度の収支不足により2億1500万円を追加し、総額32億1120万円としました。

・後期高齢者医療特別会計（全員賛成）
前年度15万円の収支不足となりましたが、予算総額の増減はありませんでした。

・一般会計（賛成12人、反対2人）
マイナンバー制度導入について討論がありました。

討論

北川 悦子 議員
制度は行政の効率化、国民の利便性の向上をうたっているが、個人情報の漏えいや、なりすまし犯罪防止の点では疑問が残る。

財産の取得

（全員賛成）

・消防ポンプ車三台
契約金額　4779万円
契 約 先　長野ポンプ㈱

条例改正

（全員賛成）

・税条例
法人町民税率の引き下げと軽自動車税率の引き上げ等による改正

・国民健康保険税条例
賦課限度額の改正と軽減措置の所得判定基準の改正等

・火災予防条例
祭礼等で火気を使用する際、消火器の準備等設置義務を付ける改正

人事

（全員賛成）

選挙管理委員

竹川　雄二郎　氏（再任　鶴ヶ丘）

山田　克己　氏（再任　旭ヶ丘）

南　歳幸　氏（新任　西荒屋）

吉村　洋子　氏（新任　大根布）

選挙管理委員補充員

今村　克博　氏（再任　鶴ヶ丘）
丸一　邦彦　氏（再任　大根布）
夷藤　芳夫　氏（再任　向粟崎）
生田　外喜枝　氏（再任　白帆台）

固定資産評価審査委員

髙桑　眞知子　氏（再任　鶴ヶ丘）

自治振興に寄与

全国町村議会表彰

南　守雄　議員

町議会議員として、二十七年以上の永年にわたり地域振興と住民福祉の向上につくされた功績をたたえ、表彰状が贈られました。

「27年町と共に歩んできました。今後も町政発展と町民福祉の向上に向けて、お役にたてるよう頑張っていきたいと思っております。」

石川県知事表彰

渡辺　旺　議員（5期以上）

石川県町村議会表彰

能村　憲治　議員（11年以上）
夷藤　満　議員

総務産業建設常任委員会副委員長・環境開発対策特別委員会副委員長の辞任に伴い、新たに両委員会において、副委員長が選出されました。

藤井　良信　議員
総務産業建設常任委員会副委員長

中島　利美　議員
環境開発対策特別委員会副委員長

農業委員

八田外茂男　議員（新任　緑台）

北川　悦子　議員（新任　鶴ヶ丘）

PCフル活用　タブレットパソコン

ことし4月から導入したタブレットパソコン「i-Pad」を、6月会議から活用しています。

当初は不慣れだった議員も、使っているうちに便利さを実感し、議員の間でお互いに教え合い、最近では手放せないほど、持ち歩くようになっています。

委員会においても、町執行部から提出される膨大な資料が、PC一つにまとめられ、過去の資料を探し出すことも可能となりました。

今後より一層努力して、機能を最大限活用できるように、研鑽していきます。

総務産業建設常任委員会

問 **町民夏まつり、地区祭礼等における露店等に対する消火器の設置の指導は。**

答 各種イベント等における露店に対し、消火器の設置について、しっかりと指導していく。

問 **内灘大橋ライトアップを全面的に改修する考えは。またＬＥＤ化は可能か。**

答 内灘大橋ライトアップの改修は、石川県と協議をおこなっており、ＬＥＤ化も調査している。

問 **消防団団員の制服等の夜間における視認性は。**

答 機能性と夜間視認性の向上を図り、新基準のオレンジ色の入った活動服への更新を検討したい。

問 **農業委員会の女性委員の選出についてどう考えているか。**

答 各種団体に候補者推薦の際、女性委員の選出について配慮していただくよう依頼している。

サンセットブリッジライトアップ

文教福祉常任委員会

問 **国民健康保険特別会計では、毎年２億１５００万円の不足額が発生するのか。**

答 25年度単年度収支では５０００万円弱だが、前年度の不足額を含めると累計で２億１５００万円になる。

問 **防犯灯をＬＥＤ化するにあたり、どのように進めていくのか。**

答 町会区長会で説明し、各地区の要望書を取りまとめ、全体計画を作成した上で、順次更新していく。

問 **福祉センター、サイクリングターミナルに塩素投入装置が設置されているのに、新たに源泉タンクに同装置の設置が必要なのか。**

答 源泉から各施設までの配管に細菌の発生を防止し、安全性を高めるため設置する。

大根布小授業風景

問 **大根布小学校が道徳教育推進校に指定されたが、具体的な内容を示せ。**

答 「いしかわ版道徳教材」のＤＶＤを活用し、きめ細かい道徳教育をおこなう。

追跡

ありゃ～ どうなったがいね～

一般質問のゆくえ

アカシアの消雪対策を図れ

アカシア地区は高齢化率が高い。除雪は大変な負担であり、事故の危険も伴う。早急に消雪対策を図れ。

平成18年9月議会　能村　憲治　議員

答　弁

機械除雪で対応している

道路の幅員に応じた機械除雪で対応しており、町会の方々の協力をお願いしたい。

その後

今年度消雪整備を実施

今年度上水の休止井戸を活用して、アカシア地区及び向陽台地区で消雪設備を整備します。冬までの完了を予定しています。

共同墓地の整備を図れ

今後少子化で、ますますお墓の管理が難しくなる。町で共同墓地の整備を図れ。

平成22年12月議会　北川　悦子　議員

答　弁

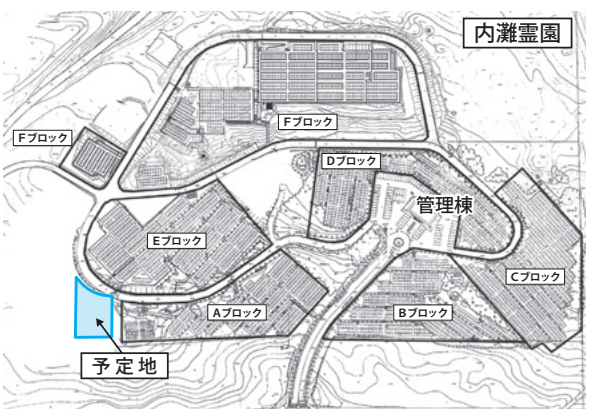
研究したい

今後行政として何ができるか、霊園管理の中で研究したい。

その後

27年度に整備計画

近年の社会状況では孤立化が進み、将来に不安を募らせる方々が多くなっています。町では、先進事例を調査・研究し、合葬式墓地を27年度に整備計画しています。



一般質問

町政を問う

8人が登壇

生田　勇人 議員 …… 8
- 先を見据えたインターチェンジ整備を
- 小中学校の不登校の状況について

清水　文雄 議員 …… 9
- 内灘砂丘を守れ
- 教職員の労働安全衛生管理について　ほか2問

藤井　良信 議員 …… 10
- 人口減少社会の主眼は
- 土曜教育の考えを示せ　ほか4問

恩道　正博 議員 …… 11
- 避難所施設の充実は

太田　臣宣 議員 …… 12
- リフォーム助成の継続は
- 消雪整備計画について　ほか1問

北川　悦子 議員 …… 13
- 新制度で保育料はどう変わる
- 介護サービスについて　ほか4問

中島　利美 議員 …… 14
- ペット合葬墓を整備せよ
- 産後安心ヘルパー派遣事業について　ほか1問

水口　裕子 議員 …… 15
- 北部提言書 どう取り扱うか
- 町の原発防災計画について　ほか3問

題字　上野雅子さん（西荒屋）

先を見据えたインターチェンジ整備を
今年度中に方針を決定したい

生田　勇人 議員

問 北部地区の町会・区長や住民で組織する北部開発促進協議会より提言書が町長へ提出された。
本年度に繰り越しとなった北部地区基本構想事前調査業務も含め、町長が公約に掲げた北部開発ビジョン策定に向けての進め方を示せ。

答 提言書は北部地区住民の総意として真摯に受けとめ、今後は事前調査資料をもとに議会と協議し、また県関係機関と事業を進める上での問題や課題、採択事業の有無などを協議しながら進め、平成26年度末までに北部地区基本構想を策定したい。

問 策定後はどのようなスケジュールで具現化していくのか。

答 優先順位や進行計画は北部地区基本構想策定の中で明記する。

問 当町は県都金沢への短時間通勤圏であり、定住人口を増加できる位置にある。
南部地区でおこなってきた、時代の先を見据えた整備が必要だ。
地元地域からの提言、県の整備支援という環境の整った今、北部開発の鍵であるインターチェンジ（ＩＣ）整備を今後どう計画していくのか。

答 定住促進や活性化を図る上で北部地区における「のと里山海道」ＩＣ整備は非常に重要なものと捉えており、あわせて既存集落の活力維持を目的とした地区計画制度の検討も進めたい。
提言書を参考に議会や県関係機関と協議を重ね、今年度中には整備位置や形状等について町の方針を決定したい。

４車線化工事が進むのと里山海道

不登校対策

問 小中学校の不登校となる基準を示せ。

答 文部科学省は年間30日以上の欠席を不登校と定義しており、町では実態把握と早期対応ため、各学期に10日以上の欠席を不登校傾向として見守っている。

問 町内の不登校状況は、昨年5月と比較するとどうなっているのか。

答 昨年は小学生3人、中学生27人だったが、ことしは小学生2人、中学生9人となっている。

問 今年度から中学校の**エール教室**※を廃止したことが教室復帰へつながったのか。

答 進級を機に自分の教室へ復帰した生徒もおり、エール教室を廃止した影響はないと考える。

問 現在、町教育委員会として、どのような対策を推進しているのか。

答 不登校生の復帰支援とともに、新たな不登校生を生まない取り組みを推進している。
魅力ある学校づくりが肝要であると考え、「わかる授業」「居場所づくり」「きずなづくり」に資する教職員研修会を実施し、指導力向上に努めることとしている。
今後も子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、相談体制等のさらなる充実を目指す。

※**エール教室**とは、学校に来ても自分の教室に入れない生徒のために平成21年から校舎内に設置されました。

内灘砂丘を守れ
看板設置を県と協議

清水　文雄 議員

問 町には青森県の猿ヶ森砂丘・鳥取県の鳥取砂丘に続き、全国で3番目に大きい内灘砂丘がある。
近年、四輪駆動車等が竹垣保護ゾーンを走行し、町の財産である内灘砂丘と風紋が台なしだ。
管理者である県に対し、保存すべき竹垣保護ゾーンへ車両の乗り入れを禁止して、内灘砂丘を守るよう申し入れるべきだ。

答 町でも砂丘復元の説明看板を設置している。町の重要な観光資源である砂丘地の景観保全のためにも、県へ砂丘・竹垣保護ゾーンへの四輪駆動車の乗り入れを禁止する啓発看板の設置について協議を進めている。
同時に、海岸利用者に内灘の海浜利用に関するルールの一層の周知・啓発をおこなっていく。

内灘砂丘の風紋

教育現場

問 文部科学省の通知では、学校長は労働時間を適正に管理するために、教職員の労働日ごとの始業・終業時刻を確認し、記録することとなっている。
町の小中学校でも記録するべきであり、その基礎資料に基づき、教職員の超勤・多忙化について対策を図れ。

答 タイムカードや出勤時間・退校時間をチェックしている学校を聞いたことがない。
法的には労働安全衛生委員会にのっとって手だてをしている。
教頭はほぼ最後まで学校に残り、校長は各先生の状況を把握しているため、タイムカードでの管理は必要ないと考える。

入館料

問 高齢者が風と砂の館を訪れ、子どもたちに粟崎遊園や内灘闘争の歴史を伝承することは、郷土愛と誇りの醸成からも重要だ。

答 65歳以上の高齢の方が、粟崎遊園を懐かしむ等の趣旨から非常に有効と考える。入館料減免を前向きに検討する。

風塾砂塾（風と砂の館）

海水浴場

問 津幡警察署に臨時交番の設置等、防犯と安全対策の要請を強力におこない、内灘海水浴場の安心安全を確保せよ。

答 先般、深夜のパトカーの常駐とパトロール強化を強く要望した。
町としても安心安全の確保に努めたい。

人口減少社会の主眼は 第５次総合計画で定める

藤井　良信 議員

問 人口減少社会を見据えて、町の方向・方針の主眼は何か。

答 子育て支援を初め、教育・医療・福祉の充実・空き家の有効利用・雇用機会の拡大、さらにインフラ整備に加え、長年懸案となっている北部開発の取り組みや人口が増加していくための基盤整備が必要だ。
　町の第五次総合計画で目標を定めたい。

蓮湖渚公園での町民体育祭

問 コミュニティで循環する経済への町の認識と具体的な取り組みを示せ。

答 人・もの・金・情報等を地域社会で循環させ、自立性を確立していくものと考えている。
　今年度実施している元気内灘住宅リフォーム助成事業等、これらの取り組みが若者や女性の就職機会の拡大につながるものと期待している。

学校教育

問 中一ギャップ対策として、地元学習塾に協力を依頼し、主に勉強方法を教えるため、月一回の土曜課外授業を導入せよ。

答 外部の人材活用も有効な視点と考えており、今後教育委員会で土曜課外授業を研究していく。

問 小中学校における土曜授業の取り組みについて町の考えを示せ。

答 県内外の先行事例を調査し、慎重に検討していきたい。

問 小中学生による災害避難生活実体験合宿を各公民館で実施し、地域コミュニティ力や防災意識を高めよ。

答 全地区の自主防災組織が実情に応じた訓練を実施しており、町でも災害避難所生活実体験合宿の実施を検討したい。

問 小学校での**反転授業**※導入の考えはあるか。

答 タブレットパソコンを個人専用機として持ち帰ることが前提であり、町の体制としては難しい。

> ※**反転授業**とは、まだ授業で習っていない分野を、各自が家庭でタブレット動画を視聴することの事前学習を前提に、授業が進められるのが特徴。

ミルク王国

問 ミルク王国活性化では戦略的コミュニティ経済を考え、画期的な取り組みを導入せよ。

答 「ミルク王国ウチナダプロジェクト」が全国商工連合会から小規模事業者全国展開支援事業として採択された。
　今後、専門アドバイザーによる研修会を踏まえ、事業展開に取り組む。

ミルク王国発展を

恩道　正博 議員

避難所施設の充実は
自立式誘導灯の設置を申請

問 現在、防災行政無線のデジタル化を進めているが、災害時の指定避難場所である学校や公民館等に災害時の非常用はもちろん、日常的にも利用できる施設設備のさらなる充実が必要だ。

答 防災行政無線のデジタル化で難聴地域の解消と電話が不通でも双方向の情報伝達が可能となり、状況把握や情報発信が早くなる。

今年度は、災害時の非常用電源の確保に災害時用太陽光発電システムを導入する。

新たに避難所へ、太陽光と風力による自立式誘導灯の設置計画を県に申請した。

問 国の防災基本計画及び県の地域防災計画の見直しにあわせて、内灘町地域防災計画の一部が修正されたが、その内容は。

答 災害に対する即応力の強化や災害支援に係る民間事業者との連携、さらに大規模広域災害に備え、区域を越えた被災者の受け入れ等を明記した。

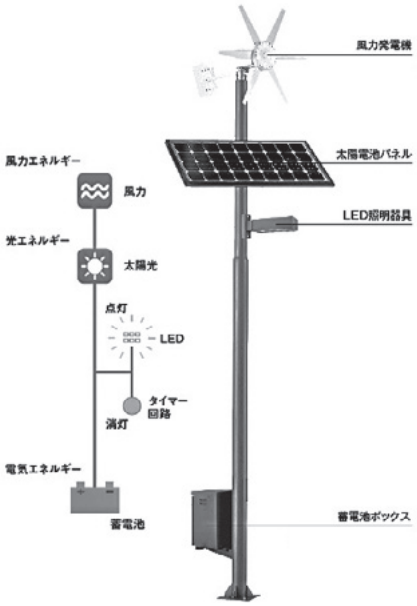
また、一般災害対策編に原子力災害対策計画を追加した。

問 苛酷事故や地震・津波等の複合災害への対策は、今回の計画に反映されたのか。

答 基本方針・予防・応急復旧などの複合災害対策の項目を加えた。

問 民間や他の自治体と災害時協力協定を新規に締結することが必要だ。

答 現在、13団体と災害時協力協定を締結。今後も随時締結を推進する。



自立式誘導灯イメージ図

防災訓練

問 町地域防災計画の修正を踏まえ、9月に予定している防災訓練に反映するべきである。

今後、町の防災訓練は、それぞれの地域に密着した訓練の充実と、全町をあげての訓練も必要だ。

答 9月21日に向粟崎・旭ヶ丘・アカシア・緑台を対象地区として、向粟崎小学校で町総合防災訓練を予定している。

対象地区では図上訓練を実施する。危険箇所を把握し、避難経路を決めて避難する実働訓練をおこなう。

今後は全町民を対象とした防災訓練の実施を検討する。

消火訓練

リフォーム助成の継続は予算対応を検討したい

太田　臣宣 議員

問 元気内灘住宅リフォーム助成事業は、居住環境の向上や安全性の確保、さらには人口流出の抑制や定住促進にもつながる。
　事業者のみならず地域全体の活性化を目的とし、ことし4月より実施し2カ月が経過した。
　予算の執行状況と内訳に加え、試算された経済効果を問う。

答 5月末の執行予定額は約1260万円であり、現段階で現金と商品券をあわせ、4件で70万5000円を交付した。
　申請件数67件の内訳は、施工事業者数20業者で1件当たりの平均助成額は約18万8000円となっている。
　経済効果は、全体契約金額に相当する約1億円に加え、交付予定額約1260万円も経済効果につながっていくと考える。

問 制度導入によって商工会に加盟する事業者はふえたのか。

答 新規に21事業者が加盟し、うち11事業者がリフォーム関連である。

問 この制度を今後、継続していくのか。

答 町内の需要が喚起され、商工会事業者の活性化に資すると考える。
　予算対応を検討したい。

住宅リフォーム現場

消雪設備

問 大学2丁目地区は急坂となっており、住民の通勤・通学や生活道路としても利用されていることから、早急な消雪整備が望まれている。

答 昨年度、井戸を掘り直しており、消雪水量は確保できる。
　現在、来年度の整備を予定している。

総合公園

問 総合公園第3次拡張整備計画では、今年度にサッカー場が完成し、フットサル場は来年度に整備予定となっているが、計画に変更はないのか。

答 サッカー場は、今年度完成に向け鋭意整備を進めている。
　フットサル場は、来年度完成に向け、積極的に国や関係機関に補助採択を要望する。

サッカー場造成現場

問 サッカー場は、いつから利用可能か。

答 予定では来年4月から利用可能となる。

問 利用料金の設定を早急に検討せよ。

答 他市町の類似施設を調査し、適正な料金体系の試算を始めている。

問 サッカー場管理をどのように考えるのか。

答 他の体育施設と同様に、指定管理者制度が妥当と考えている。

新制度で保育料はどう変わる
住民税をもとに設定

北川　悦子 議員

問 子ども・子育て支援新制度が来年4月から実施されるが、保育実施義務や責任はどのようになるのか。
　保育所の入所手続には、保護者の就労時間により保育必要量の認定が必要となってくる。
　入所手続や保育料の変更はあるのか。

答 町が保育の実施義務を担うことになり、また入所手続も現在と同様、町への申請に変わりない。
　保育必要量は1日フルタイム最大11時間、パートタイム最大8時間の保育利用に分けられ、詳細はこれから定める。
　保育料の算定が、所得税から住民税へ変更になり、現行の階層区分を基本として、住民税をもとに今後設定したい。

医療費助成

問 子どもの医療費助成は、自己負担をなくし、完全無料化にすると概算はどうなるのか。

答 概算は、まとめての申請もあり、把握することができない。

ゆとり信号機

問 鶴ヶ丘3丁目交差点と向陽台サンクス前交差点にゆとり信号を設置せよ。

答 高齢者や障害者の利用が多い交差点は、津幡警察署を通じて県公安委員会に要望していく。

西荒屋小田植え体験

介護対策

問 医療・介護総合法案では、要支援1、2と認定された方の介護サービスを介護保険給付から外すとなっているが、今後の取り組みを問う。

答 介護予防サービスなどの地域支援事業へ移行し、新しい総合事業として位置付けされる。

問 要支援の方でも入浴に困難や不安のある方が多い。現状を把握し、町からの支援も必要だ。

答 全体の事業を踏まえ、サービスを落とさないよう検討する。

問 国は地域包括ケアを市町単位で構築するとしているが町の考えは。

答 高齢者のニーズに合わせたサービスの提供に努めたい。

健康増進

問 大人も楽しく体を鍛えられる健康遊具を公園に設置せよ。

答 安全性や遊具の種類などを調査・検討したい。

問 胃がん健診に胃カメラの検査と健診のできる医療機関を拡大せよ。

答 現在、実施に向けて町内の専門医と協議中。

侵食対策

問 西荒屋、室の海岸線侵食の対応策を問う。

答 国や県に海岸保全事業の早期実施を要望していく。

ペット合葬墓を整備せよ
十分な研究が必要だ

中島　利美 議員

問 犬や猫などのペットを飼う人がふえており、家族同様に暮らす中で命を全うする日が必ず訪れる。

民間のペット葬儀社は多額な費用がかかり、経済的な負担は大きく、誰もが気軽に利用できるものではない。

町に動物専用の合葬墓を整備できないか。

答 自治体によるペットの合葬墓の設置は、全国的に事例が少ない。

河北斎場の動物専用焼却施設を利用した場合は、他のペットとの合同火葬であり、焼骨の引き渡しはおこなっていないのが現状だ。

町で運営設置する場合は、墓地の形態や設置場所・建設費・維持管理面等、十分な研究が必要と考える。

動物慰霊祭の様子（神戸市）

産後安心ヘルパー

問 近年、産後の育児不安から児童虐待との関連が指摘されている。

乳幼児の虐待は命にかかわる重症例が発生しやすく、産後安心ヘルパー派遣事業の効果が期待されている。

母親の心身の回復を助け、育児力を高めるための大切な事業だ。

目的と利用実績を示せ。

答 事業の目的は、出産から1年程度の産婦が体調不良や心身の疾病及び家族による支援が難しいことなどから、育児や家事が困難な場合にヘルパーを派遣するもの。

利用実績は、現在のところない。

問 母子手帳交付時に初回無料券を配布せよ。

答 子育て支援施策事業全体のさらなる充実に努めたい。

問 利用は予約制となっているが、緊急時の対応はどうなっているのか。

答 緊急時の対応は、現時点では難しいと考えている。

問 社会福祉協議会だけでなく、他の民間事業者にも委託し、24時間365日対応可能にせよ。

答 今後の利用状況等を見ながら、民間業者への委託や事業の啓発も含め検討していく。

地域福祉計画

問 当町で虐待に関する実態調査をおこなったことはあるのか。

答 昨年度、高齢者の相談は7件、うち虐待と判断したのは2件で、1件は緊急性があると認め、施設に一時保護した。

障害者の相談は1件で調査の結果、虐待ではなかった。

問 地域福祉活動計画に沿った一日も早い取り組みが望まれる。今後の見解を示せ。

答 できるだけ早い段階で各地区説明会を開催し、計画の周知啓発と推進に取り組んでいく。

北部提言書 どう取り扱うか
参考に基本構想をまとめる

水口　裕子 議員

問 昨年、町に北部インター説明会開催を求めたら、北部地区基本構想事前調査業務の結果が出ないと検討材料がないのでできないとのことだった。
その結果が出ないまま、町はアドバイザー的立場で参加してきた北部開発促進協議会の提言を、住民の総意として扱っていくという。
提言を重く受け止めているなら、早急にインターの説明会を開くべきだ。

答 今回の提言書は、全て北部地区住民が地域の将来構想についてみずから動き、議論を重ね提出したものであり、提言内容を参考として基本構想をまとめたい。
県や議会と協議した上で、関係町会に理解を求め整備位置を決定したい。
また昨年の質問でも、町の方向性が決まった時点で説明会を開催すると答えている。

文化財指定

問 北部開発についての長期資金計画を示せ。

答 現在おこなっている事前調査をもとに、今後は県担当部局と協議を進め、事業化の見通しができた時点で資金計画を示したい。

問 内灘闘争跡地取得のその後の経緯は。

答 小濱神社社趾及び着弾地観測所周辺の整備計画の提出を求められ、県に提出。その回答を待っている。

小濱神社社趾

原子力防災

問 町の地域防災計画が県に提出された。先に議会へ示されなかったのはなぜか。

答 法律に基づいて進めている。

問 安全協定を結ぶなど、対応策を決めておく必要がある。

答 今後の課題として捉えている。

問 国は30㎞圏内の住民の避難方法を定めている。
町の計画では30㎞圏内の住人が避難するまで、不要不急な動きをしてはいけないとなっている。
そのことは町民の安全が損なわれるのではないか。

答 本町はバックアップ市町として、避難者を受け入れることとなり、災害が発生した場合、避難経路の交通渋滞を招くおそれが予想され、「不要不急の車両の運転を控える」と明記した。
適切な行動の確保と広域的な対応が必要だ。

内灘町地域防災計画

声を国への審査

意見書

国会に憲法改正の早期実現を求める意見書

（賛成10人・反対4人）

○提出議員　中島　利美
○賛成議員　川口　正己
　　太田　臣宣

可決

主旨　新たな時代にふさわしい憲法に改めるため、改正案を早期に作成し、国民投票を実現せよ。

討論

賛成

川口　正己　議員

現行憲法は、連合国軍が占領中に素案を作り、施行されて以来、憲法を守っている国は日本だけだ。早期に、新しい時代に即した憲法に改正するべきだ。

生田　勇人　議員

現行憲法は、占領下のもと日本の主権が制限された中で制定され、国民の自由な意思が反映されていない。自衛権の否定とも取られる9条など多くの問題がある。

反対

清水　文雄　議員

憲法の保障する諸権利の実現を第一に、平和主義、国民主権、基本的人権尊重の三原則を尊重し、法整備や政策提起を進めるべきで、憲法を変える必要はない。

北川　悦子　議員

憲法改正は、権力を縛るものから、国民を縛るものへと根本的に変質している。憲法9条は侵略戦争の反省を踏まえ、二度と繰り返さないという国際制約でもある。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

（全員賛成）

○提出議員
○賛成議員
　生田　勇人
　恩道　正博
　藤井　良信

可決

主旨　ウイルス性肝硬変・肝がんの医療費助成制度を創設し、肝疾患患者の実態に応じた障害者認定制度にすること。

総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書

（全員賛成）

○提出議員
○賛成議員
　藤井　良信
　恩道　正博
　生田　勇人

可決

主旨　若者雇用対策新法を制定し、学生段階からのキャリア教育の充実強化を図ることなど。

中小企業の事業環境の改善を求める意見書

（全員賛成）

○提出議員
○賛成議員
　太田　臣宣
　藤井　良信
　生田　勇人

可決

主旨　中小企業の経営基盤の強化策と資金繰り安定化策、従業員の処遇改善を図ることなど。

あなたの意見書・請願

請願

「海外で戦争する国」にする集団的自衛権の行使容認に反対する意見書を求める請願

（賛成4人、反対10人）

1回目
◎請願者
石川憲法会議
菅野　昭夫
東　孝二
◎紹介議員
北川　悦子

討論
北川　悦子 議員
憲法解釈変更による集団的自衛権の行使を容認すれば、憲法上の歯止めがなくなり、日本は海外で戦争する国になってしまう。

不採択

「消費税増税に反対する意見書」の提出を求める請願書

（賛成3人、反対11人）

1回目
◎請願者
消費税廃止石川県各界連絡会
加藤　忠男
◎紹介議員
北川　悦子

討論
北川　悦子 議員
応能負担の原則に基づく税制改革と国民所得を増やす政策で税収を増やせば、社会保障拡充の財源は確保できる。

不採択

米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願

（継続に賛成11人、反対3人）

2回目
◎請願者
農民運動石川県連合会
宮岸　美則
◎紹介議員
北川　悦子

継続

「農政改革」を見直し、食料自給率の向上を最優先した農政を求める請願

（継続に賛成11人、反対3人）

1回目
◎請願者
農民運動石川県連合会
宮岸　美則
◎紹介議員
北川　悦子

継続

議会録画をご覧下さい
●町ホームページで、インターネット配信されています。

町議会Eメールアドレス　gikai@town.uchinada.lg.jp
町ホームページ　http://www.town.uchinada.lg.jp

発　行：内灘町議会　責任者：議長　夷藤　満
編　集：議会広報対策特別委員会

〒920-0292　石川県河北郡内灘町字大学1丁目2-1
☎076-286-6715　FAX076-286-6711

議会を傍聴しませんか

6月から通年議会制度を試行しているため、次の本会議の開催日は町ホームページ、あるいは下記までお問い合わせください

議会事務局　TEL286−6715

街かどインタビュー

笑顔・みーつけた

今回紹介する方は、ハマナスにお住まいの松川　仁美（まさよし）さんです。

◆内灘に住んで良かったところは。

○生まれも育ちも内灘で、年上の知人も多く相談もでき、楽しく過ごせています。

◆昔と比べてどう変わりましたか。

○サンセットブリッジも完成して、北部と南部が行き来しやすくなった。

◆日ごろから地域のために取り組んでいることはありますか。

○地域の防災士として、ハマナス地区の防災訓練等へも参加し、防災意識の向上に努めています。

◆子どものころは、どんな遊びをしていましたか。

○友人と権現森へクワガタを捕まえに行ったり、またサリガニやオタマジャクシもよく捕まえに行きました。

◆楽しんでいる趣味はありますか。

○たまに、談笑しながら友人とお酒を飲むことが楽しみです。

◆町に望むことはありますか。

○新幹線が金沢に入って来るので、内灘の魅力である、すばらしい海岸をもっと首都圏でPRして、多くの方が町に訪れてほしいですね。

日課は愛犬との散歩

インタビュアー　太田 臣宣

編集後記

昨年の六月議会から広報委員会も新たな委員でスタートし、早や一年が経ちました。

議会広報の編集は定例会終了後、一般質問の編集から始まり、提案された議案・条例・人事案件の結果や各常任委員会の審議等に関し、議会を傍聴にこられない住民の方々に、議会審議の内容をつぶさにお知らせすることと、読みやすく親しまれる紙面づくりをモットーに、約5回の紙面校正を経て発行にいたっています。

毎年、町村議会広報の全国コンクールに参加していますが、久しく入選から遠ざかっているので、委員一同は入選を目指して頑張っています。

〔恩道　正博〕

広報対策特別委員会

委員長　恩道　正博
副委員長　中島　利美
委員　生田　勇人
委員　酒本　昌博
委員　太田　臣宣

1部あたりの単価は30.44円です。
リサイクルペーパーを使用しています。